

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2024 年 4 月 24 日 週報 第 2721 号



那覇西ロータリークラブ年間テーマ

「親睦を深め問題意識を共有し、奉仕の心を育む」

四つのテスト

- | | |
|---------------------|---------------------------------------|
| 1. 真実かどうか | 本日のプログラム |
| 2. みんなに公平か | 4月24日(水) |
| 3. 好意と友情を
深めるか | ・点鐘 |
| 4. みんなの為に
なるかどうか | ・ロータリーソング
日も風も星も
・会長報告
・幹事報告 |

例会報告

第 2846 回 (2024 年 4 月 17 日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
54名	28名	24名	53%	58%

欠席会員

名幸、安里(清)、糸洲、豊村、松島、大城(博)、儀部、大嶺、福重、久保、渡慶次、三浦、丸橋、平尾、石垣、ジョンソン、照屋(紀)、小豆澤、手束、佐久本、南風原、仲程、福本、稲嶺会員

メイクアップ会員

大原 博 (4/15 浦添)
慶佐次 操 (")
ビジター
下田美智代 (那覇東)
山里 将 (浦添)

ゲスト

大城宜哲 (ゲストスピーカー)
宇野ゆかり (大城美穂子会員)

ニコニコ BOX (2024 年 4 月 17 日)

合計 ¥2,000 累計 ¥276,000

大城純市 大城宜哲先生の卓話を楽しみにしています。
宜しくお願ひ申し上げます。

会長 中村 敦 副会長：慶佐次 操・三浦 勉
幹事：比嘉芳直
例会日 毎週水曜日 12 時 30 分
例会場 沖縄ハーバービューホテル
事務局 那覇市松山 1-1-14 那覇共同ビル 6 階
TEL：861-7824 FAX：861-7825



4 月度お誕生日祝い

新里順一 (4 月 1 日) 儀部頼人 (4 月 12 日)
藪亀達哉 (4 月 21 日)

会長報告



今朝の朝刊で沖縄の地銀 3 行が有事に備えた体制を構築するという報道がありました。自然災害に対する対応はいままでもあったのですが、いよいよ有事のことも想定のうえ、対応していかなければいけないということです。

有事の際にどの段階ま

で銀行業務ができるのか、行員の避難はどうするか、現金をどのように取り扱うのかといったことを 24 年度中に話し合うそうです。このような有事はないことに越したことはありませんが、このような心構えは必要なのではないかと思います。

次に、今まで地区のグループには名称がついていなかったのですが、名称がつけられるとのこと。那覇西ロータリークラブは、「那覇西・宮古島グループ」に所属することになります。この那覇西・宮古島グループには那覇西、宮古島、宜野湾、浦添、那覇南、那覇北の各ロータリーが所属します。グループの数は 13 で変わ

りありません。どうしてこのようなことをするかというと、より地域密着型のロータリークラブを目指しましょうということ。今年度の地区大会で採択された地区行動計画に基づいてのもので、ロータリーの数も増減があるなかで、5年に1回はこの地区編成を見直していくということになります。

次にガバナー補佐の話ですが、次年度のガバナー補佐はすでに決まっています。その翌年の2025・26年度のガバナー補佐を決める作業中ですが、ガバナー補佐推薦会議を経て選任されるということになりました。ただし、これまで輪番制でしたから、それを踏襲することにはなりません。次は浦添ロータリーからガバナー補佐を選任することになっており、6月の会議で決定する予定となっています。

幹事報告



先週の献血のご協力ありがとうございました。

74名が献血できました。来年もありますので、よろしく願いいたします。

次に、ゴルフのお知らせです。まずは5月4日(土)会長杯、沖縄カントリークラブで3組、13時7分スタートです。皆様のご参加

をお待ちしております。次は、名護ロータリー50周年記念です。日程は6月15日(土)、カヌチャゴルフコースになります。参加は事務局までお願いします。もうひとつはポリオ根絶チャリティゴルフ大会です。日時は、6月6日(木)11時スタート、場所はロイヤルゴルフクラブとなっています。

例会変更・休会のお知らせ

那覇 RC

(例会休会)

日時：2024年4月30日(木)

クラブ定款第7条第1節d項により

委員会報告

・献血のお礼(照屋会員)

受付者76名、採血者74名となっており、当初の目標である100名には及びませんでしたが、会員の皆様のご協力、感謝いたします。また、沖縄県の赤十字血液センター所長、百名様から献血ご協力の御礼の文書が届いております。

・台北旭日ロータリーの例会について(江夏会員)

第1・第3火曜日の夜(8時から9時の1時間)に例会を開催しております、オンラインでも参加可能です。海外のロータリーの例会が見られますので、台湾旭日ロータリーで検索してみてください。

卓話 「痛みと命の脳科学～痛みと癒しの2面性～」

神戸大学院ペインクリニック 医師 大城宣哲氏



痛みを感じない人は存在します。先天性無痛症という病気で遺伝性疾患です。痛みや温度などに鈍いため、やけど等に気が付かず、結果、感染症などを経て、最終的には死に至ります。治療法はありません。日常生活で気を付けるしかない病

気です。痛み自体は病気ではなく重要な警告信号です。これがなければ早死にしまいます。また、今は脳が見える時代です。ファンクショナルMRIという技術を使うことによって、痛みに関連する脳の活動がわかってきました。黄色く反応しているところがペインマトリックスといい、痛みを感じたときに動いている部分です。このように、痛みの刺激を感じると脳まで届いて、「痛い」という感覚になります。この痛みを緩和するために脳に届かないよう鎮痛薬を使ったりします。腰痛については、80%くらいは診断不能です。いろいろな画像検査をしてもわからないことが多いです。鎮痛物質が脳から出ているのですが、これがうまく作用しないことなども考えられています。また、ぼーっとしているときに脳はエネルギーをかなり消費していることがわかってきました。これを暗黒エネルギーといいます。ぼーっとしているときに働いているネットワークが発見され、これがかなりエネルギーを消費しています(デフォルトモードネットワーク)。この研究が一番進んでいるのがアルツハイマーです。また、意識のなかにある記憶はこの膨大な無意識のなかに閉じ込められていて、この意識と無意識がともに命を形成しており、古傷が痛むというのもこの膨大な無意識から呼び起こされているのではないかと考えられています。最後になりますが、なんでもいい面悪い面、2面性があります。この2面性、痛みと癒し、命のために使っていきたいと思えます。

以上